

CSR

REPORT 2021

加藤商事株式会社

KATO



<https://katosyoji.tokyo>



未来の地球に 持続可能な 環境を創る企業

KATO
加藤商事株式会社

会社概要

会社名	加藤商事株式会社
代表者	代表取締役 加藤 宣行
事業内容	環境コンサルティング／容器包装プラスチック・ペットボトルリサイクル業務／ 一般廃棄物収集運搬業務／産業廃棄物収集運搬業務／ 総合建物管理業務／一般土木、上下水道工事
資本金	4,050万円
設立	1960年4月
従業員	177名(2021年9月現在)
事業所	本社:東京都東村山市恩多町1丁目12番地3 赤坂営業所／東大和営業所／町田営業所／八王子営業所
主な許認可	産業廃棄物収集運搬業(東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県/福島県/山梨県/群馬県(順不同)) 特別管理産業廃棄物収集運搬業(東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県/茨城県/栃木県/群馬県(順不同)) 産業廃棄物処分業(東京都(中間処理)) 産廃エキスパート(東京都(収集運搬)) 東京都一般建設業(般-25)第101214号(土木/管/塗装/とび・土木/ほ装/水道施工/電気/解体) ISO14001
情報公開	さんぱい情報ネット(http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/)

沿革

昭和

平成

令和

21	29	30	35	14	15	17	18	19	20	21	22	24	25	26	28	2						
埼玉県大宮市に於いて、加藤長次郎が 清掃業を自営	資本金二百万円を以って加藤商事 有限会社を設立	東村山市と所沢市に営業所を設置	加藤商事株式会社を資本金五百万円 を以って設立	ISO14001を取得	エコ工場フェニックス第一工場完成	東京都エコトライ協定を締結	東村山市より中間処理業の許可第1 号を取得、本社を市内恩多町へ移転	代表取締役に加藤宣行が就任	東京都産業廃棄物「中間処理業」 許可取得	清瀬市・東久留米市の「容器包装プラ スチック」の受入を開始	東村山市の「容器包装プラスチック」 の受入を開始	西東京市の「容器包装プラスチック」 の受入を開始	エコ工場フェニックス第二工場完成	町田市に営業所を設置、町田市「可燃 物収集運搬委託」開始	加藤宣行が公益財団法人全国産業廃 棄物連合会青年部協議会の第三代会 長に就任	環境イノベーション事業部を開設	町田市「家庭系持ち込みごみ選別」委 託を開始	経済産業省「インフラ・システム輸出 促進調査等委託費（中国大連市にお ける調査事業）」受託	清瀬市「ペットボトル収集」の委託を 開始	東村山市「ペットボトル」の受入を開始	町田市「容器包装プラスチック収集」 の委託を開始	清瀬市「ペットボトル」の受入を開始

加藤商事は「次世代に生活する快適さと持続性の調和した環境を残すことが、今存在する当社の責務である」と考え、経営理念を「未来の地球に持続可能な環境を創る企業」とし、社員の思いを集結し全力で事業に取り組んでまいります。

目次

01 …会社概要	07 …人財	13 …新型コロナウイルス感染症への対応	19 …環境②
03 …CSRトップメッセージ	09 …顧客満足	15 …地域貢献	21 …会社データ
05 …加藤商事のCSR	11 …安全衛生	17 …環境①	

編集方針

本報告書は、加藤商事におけるCSR(Corporate Social Responsibility)の基本的な考え方と取り組み・実績についての情報を開示し、ステークホルダーとの関係を大切にしながら、経営の改善・向上を目的とするものです。重点課題を「人財」「CS(顧客満足)」「安全衛生」「地域貢献」「環境」の5つとし、それぞれの活動を紹介していきます。

対象期間	2020年4月～2021年9月
対象範囲	加藤商事株式会社 本社・営業所全体
参考としたガイドラインなど	・GRI【サステナビリティレポートガイドライン】第4版 ・環境省「環境報告ガイドライン」(2018年版) ・ISO26000「社会的責任に関する手引き」
発行日	2021年11月



“安全”はあたりまえでない 不測な事態が起きようとも、 安全を守り、生活を守る 加藤商事に

加藤商事株式会社
代表取締役 加藤 宣行



日頃から想定することの重要性を再認識

当社は三多摩清掃事業協同組合に加盟しています。組合は、東京都23区以外の地域で、一般廃棄物処理委託を受けている35社で構成され、社員数は約1,300人にのぼります。従来は、それぞれの会社ごとに緊急連絡網が存在し、有事の際の安否確認は電話で行われていました。しかし、大規模災害時には電話での迅速な情報共有が困難な状況が想定されることなどから、組合として安否確認システム（ANPIC）の導入を決めました。実際に災害が発生した際に社員の安否情報がきちんと集約できるよう、当社でも複数回訓練を実施してきました。始めのうちは、回答率も低い状態でしたが、回答のなかった社員には、個別に重要性の説明等を行い、回答率向上に努めてきました。

2021年10月7日夜に千葉県北西部を震源とするマグニチュード5.9の地震が発生し、東京都や埼玉県で震度5強を観測しました。この時、実際に安否確認の通知が全社員に発せられ、社員の登録した安否情報を確認することになりました。幸い、今回の地震では被害はなく安心しましたが、今後も、運用の徹底をはかり、十分にシステムを生かしていきたいと改めて思いました。

また、当社にはごみの収集・運搬・リサイクルを通して、地域のみなさまの暮らしを支えるという重要な使命もあります。そのため、当社ではBCP（事業継続計画）を作成しています。当社のBCPは大規模震災による災害発生時の対応を想定し作られています。しかし、近年、気候変動が原因と考えられる大雨災害が多く発生しています。このため、今後水害への対応についても社内で検討を重ねていきたいと考えています。

新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの方が不安な日々を過ごされたと感じています。当社の社員も、感染の不安と闘いながら仕事に従事しておりました。特に、ごみの収集を行う社員は、マスクやティッシュなどのごみに触れることから、より大きな不安を抱えていました。感染リスクにさらされている社員のため、何かできないだろうか考え、行政や地元自治体への働きかけを行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まった当時、具体的な対応策は示されておらずでした。その後、環境省から廃棄物対策につ

いてまとめて資料が公開され、それに基づいた対策が取られるようになりました。

当社が行っているごみの収集運搬は、日常生活を送る上で欠かせない仕事です。仮に当社からクラスターが発生するような事態になった場合、ごみの収集・運搬を継続することが困難になってしまいます。そのことをご理解いただき、廃棄物収集運搬業の従事者を優先接種対象者に含めていただけることになりました。その結果として、個人的な事情によりワクチン接種ができない社員を除き、2回目のワクチン接種率は95%に達しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大によって、対面での営業活動が制限されたことを契機に、当社も打合せや会議などのオンライン化を進めました。私自身も関係団体の会議などをオンラインで行っています。始めは、使い方に慣れておらず上手に話すことが出来ませんでしたが、回数を重ねるにつれて会議をスムーズに行えるようになりました。オンライン会議では、発言者がフォーカスされ、会議が効率化するメリットがあると感じました。本社と営業所の物理的距離をオンラインツールで埋めることができるので、今後もツールを活用していきたいと思っています。

現在も予断を許さない状況が続いていますが、社員が安心して働ける環境づくりを進めていきたいと考えています。

カーボンニュートラル実現に向けた取組

京都議定書発効以来、地球温暖化が環境問題の中でも高い関心事となっています。当社は廃棄物処理業界におけるCO₂問題の旗手として低炭素化を目指し、取組を進めてきました。展示会に出展する際には、ブースで使用する電気のCO₂をオフセットしたり、太陽光発電を自社に導入し、使用する電力の一部を太陽光で発電する電力で賄ったりしてきました。

今後は、脱炭素化に向け積極的に取り組んでいきたいと考えています。現在、2022年1月から本社・工場の電力をCO₂フリーの電力に切り替える予定で契約を進めています。自社からのCO₂の排出は収集運搬時の車両からの排出が多く、性能等の技術面やコスト面などの問題もあり、すぐに具体的な手を打つことが難しい部分もありますが、「必ず実現させる」という強い意志を持って、取り組んでまいります。

加藤商事の目指す2050年の姿

当社の事業活動によるCO₂排出を、2050年までに実質ゼロにする宣言しました。その実現のためには、今まで以上に社員の叡智を集める必要があります。

加藤商事は、社員数177人を超すまでに成長しました。多様なバックグラウンドを持つ社員が増えたことで、従来と同じメッセージを出してもなかなか伝わらないという課題も出てきています。社員と会社、双方向のコミュニケーションをはかりながら、社員一人一人がその力をいかに発揮できる、そんな会社を目指していきたいと考えています。



加藤商事のCSR

～創立当初から今日まで、変わらない想い～

60年以上の歴史をもつ当社では、80年、100年、その先もステークホルダーの皆様への社会的責任を果たし、必要とされる企業であり続けます。

企業理念にこめられた想い

当社の事業を通じ、ステークホルダーの皆様の期待に応え、「持続可能な社会を実現する」こと、つまり次世代の我々子孫に、生活する快適さと持続性の調和した環境を残すことが、今存在する当社の責任であると考えています。

■ 企業理念

あす 未来の地球に持続可能な環境を創る企業

● WHO (誰が、誰を)

我々、加藤商事は、お客様(自治体・企業・生活者すべて)のことを考えています。

● WHEN (いつ)

常に、考えています。

● WHAT (何を)

どうしたらもっとお客様が快適で安心・安全に経営・生活出来るかを考えています。

● HOW (どのようにして)

お客様の立場となって、まじめ・勉強好き・プラス発想の精神で考えます。

お客様の求める環境とは、快適・安心・安全です。それは、単なる一企業のためや、一個人のためだけの欲求を満たすものではなく、そこに取り巻く地域・国・地球へとつながっていき、次世代の子供たちに持続可能な環境を創っておくことだと考えます。

また、それを実現することは、当社とステークホルダーの皆様共通の喜びであり、双方の発展に欠かせない存在意義だと考えています。

社会(ステークホルダー)とのつながり

当社は事業活動を通じ、社会の役に立ちたいと考えています。ここでいう社会とは、当社とつながりのある人々や組織のことで、ステークホルダーと呼んでいます。

ステークホルダーには、より品質の高いサービスを提供するための「協力会社」、サービスを選んでくださる「お客様」、営業拠点のある「地域社会」、地域環境を共に考える「自治体」、想いを結集し行動する「業界団体」、また事業活動の要となる「社員(社員の家族)」がいます。

また、人や組織ではありませんが、「環境」についても深いつながりがあるため、CO₂や廃棄物抑制などの環境配慮についても果たすべき責任のひとつだと受け止めています。



重要な5つの基本テーマ

当社は社会的責任を果たすために、重要度の高い5つの基本テーマを掲げています。各テーマに沿った具体的な活動を行い、質の高いCSRを目指します。

1

人財



環境問題に立ち向かう知識・技術を有する人財の育成

- 女性活躍推進・障がい者雇用などのダイバーシティ推進
- 社内研修等の開催による専門知識の習得

など

2

顧客満足



お客様視点に立った質の高いサービスの提供

- 顧客ヒアリング・アンケート実施によるサービスの品質向上

など

3

安全衛生



社員の安全意識向上による事故・災害の撲滅

- 事故内容の検証、再発防止策の徹底
- 安全スローガンの募集や共有による安全意識の向上

など

4

地域貢献



地域に根差したCSR活動

- 子供・高齢者の見守り運動実施
- 地域清掃等のボランティア活動
- 環境教育や工場見学による啓発活動

など

5

環境



あす
未来の地球に持続可能な環境を創る企業

- ISO14001のPDCAサイクルを活用した継続的改善
- 事業活動に伴い排出されるCO₂の監視・測定

など

当社のCSR活動とSDGs

当社ではステークホルダーの皆様のご期待に沿う、そして国際社会で策定されたSDGs(持続可能な開発目標)にも合致するCSR活動を進めております。当社のCSR活動を通して様々な社会問題の解決に寄与できるよう、より一層活動を推進してまいります。

SDGsのゴール	対応するキーワード	SDGsのゴール	対応するキーワード
8 働きがいも経済成長も	・働きがいのある仕事 ・安全、安心な労働環境	11 住み続けられるまちづくりを	・廃棄物の適正処理による環境影響の軽減 ・総合的な災害リスク管理
9 産業と雇用創出の促進	・質の高い、持続可能な廃棄物処理 ・資源利用効率の向上	12 つくる責任 つかう責任	・製品ライフサイクルを通じた廃棄物管理 ・廃棄物発生量の大幅な削減



事故防止に向けた社内教育

廃棄物の収集運搬、中間処理という市民生活に直結する事業を行う当社にとっては、社員の安全を確保しつつ、事業を安定的に継続する必要があります。安全作業、そしてより質の高いサービスをご提供するため社員教育を行っています。

事故映像を用いた研修、危険地域の共有

収集運搬作業時の事故防止に向けて、実際のドライブレコーダー映像を用いた研修を行っています。実際の映像を用いることで、より具体的なイメージが可能となります。また、実際に事故が発生した地域・箇所は全作業員で共有し、異なる地域でも似た箇所がある場合は注意するよう促しています。



危険箇所の掲示

容器包装プラスチックやペットボトルの中間処理を行うエコ工場では、不注意や確認漏れによる事故のリスクが多く潜んでいます。危険な箇所には注意喚起の掲示を徹底し、定期的な危険箇所の確認を行っています。



障がい者雇用

当社では、容器包装プラスチックの中間処理を行うエコ工場フェニックスにて、障害者雇用促進法で定められた雇用率を上回る6名の障がい者を雇用しています。雇用の際には社会福祉法人東京コロニー様と連携して人材を紹介いただいております。また、責任者が職場内障害者サポーター講習を修了し、より働きやすい環境を創るための取組を実施しています。さらに、月に一度、障がいをもつ各社員と面談を実施し、一人一人にあった業務内容に従事できるよう工夫しています。

法定雇用率（民間企業）

2.3%

障がい者雇用率（加藤商事）

3.6%

インタビュー



加藤商事には入社して3年になります。1年目は勤務時間を8時～12時としていましたが、上司や先輩のサポートもいただき、作業しやすい環境と一緒に整えてきました。そのおかげで、2年目からは正社員契約を結び、フルタイムへと切り替えました。現在は協力会社への作業指示など、業務を引っ張っていく立場として、より頑張っています。

一般事業主行動計画

当社では「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく一般事業主行動計画を2019年に策定しました。計画達成に向けた進捗状況を適宜管理し、計画の達成、さらにはより高い数値の達成に向けた取組を進めてまいります。

目標①

採用者の女性比率
25%以上を
目指す

目標②

女性社員の
成長機会の
拡大

目標③

女性管理職
候補生の
育成

目標④

男女共に働きやすい
職場風土整備を
行う

情報公表（2021年9月30日時点）

■ 正社員における男女比率

男性92% 女性8%

■ 新規採用者男女比率

男性71% 女性29%

■ 正社員における平均勤続年数

男性8.3年 女性6.3年

■ 管理職に占める女性労働者割合

男性89% 女性11%

■ 係長職に占める女性労働者の割合

男性100%

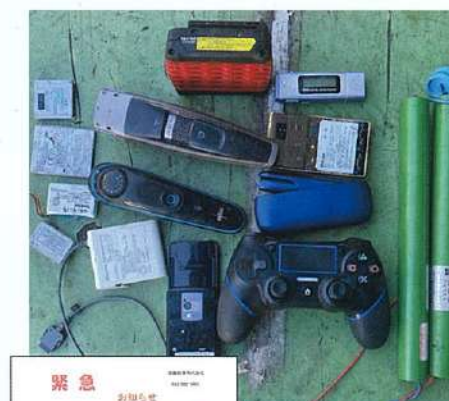
トピックス：リチウムイオン電池への対応

当社のエコ工場フェニックスでは、一般家庭から排出される容器包装プラスチックの中間処理を行っています。しかし、回収されたプラスチックの中にリチウムイオン電池が混ざっていることが近年増加しています。リチウムイオン電池は充電器や電子タバコ、ゲーム機などに使用され、私たちの生活に欠かせない便利なものです。しかし、外部から力が加わると発火する危険があり、運搬車や工場での発火事故が発生しています。

当社では運搬車両のドライバーに対して、リチウムイオン電池やその他異物と思われるごみが入っている場合は、回収しないよう、ドライバー向けのチラシを作成し、お願いをしています。

また、エコ工場に従事する社員へ作業計画書・選別マニュアルを共有し、周知を図っています。

リチウムイオン電池が正しく捨てられないと、リサイクルができないだけでなく、施設や従業員の安全面に危険が及びます。適正な排出をよりお願いいたします。





PCB 廃棄物トータルサポート

当社は特定管理産業廃棄物であるPCB廃棄物について、処理に関するトータルサポートを行っております。処理期限が刻一刻と迫る中でも、お客様が安心してPCB廃棄物を処分できるよう、様々なサービスを行っております。

Q.PCB / PCB 廃棄物とは？

PCBは燃えにくく、電気絶縁性に優れていたため、トランスやコンデンサ、キュービクルなど電気機器に多く使用されました。しかし、人体への有害性が認められ、昭和47年以降は製造や製品への使用が禁止されました。

PCBを使用した製品が廃棄物になった場合、PCB廃棄物として適正な保管・管理が求められます。また、処理期限が地域ごとに定められており、処理期限内に処理する必要があります。

サービス① 全数調査

昭和52年3月以前に建設された建物について、PCBを使用した製品やPCB廃棄物がないか、すべての照明器具等を調査します。管理者様が把握していないPCBが発見されることもあり、各施設所有者の適正処理に貢献しています。



事例 - 某自治体の場合

公立小中学校に設置されている全ての照明器具を調査しました。照明4,146台のうち66台（全体の1.6%）が新たにPCB判定されました。

調査建物数	調査照明台数※	PCB 判定照明台数
11 件	4,146 台	66 台

※発注者から調査対象として指定された照明台数の合計です。

サービス② 安定器等分別調査

保管されているPCB廃棄物の中には、そもそもPCB廃棄物に該当しないものや、微量PCB廃棄物が混在している可能性があります。これらを正しく分別し、適正に処理することで処分費の削減につながります。

事例 - 某企業の場合

PCB廃棄物として保管された照明器具のうち、2割以上がPCB廃棄物に該当しないものでした。正しく分別し処理することで処分費を約2,800万円削減できました。

保管台数	処理費用 (想定)	分別した 安定器等台数※	正しく分別した場合の 処理費用	削減額
1,432 台	112,863,520 円	332 台	84,658,700 円	28,204,820 円

※PCB非含有、微量PCB廃棄物に分別された安定器等台数の合計です。

地域の声

加藤商事では、一般家庭ごみの収集という地域の皆様と距離の近い業務をしています。従業員は、いただいたサンキューレターを胸に刻んで明日への活力としています。

▼近隣住民の皆様から



サンキューレターの実際の言葉（お手紙から抜粋）

- 毎回の収集ありがとうございます御座居ます。
- 雨、風、雪、お盆、正月、祝祭日、また今回のコロナ騒動でも増え大変なことと思います。
- 仕事ですから、と言うのは簡単ですがほんとうに頭が下がります。感謝です。
- 日頃何も考えず集積所にほうり投げていました。改めて皆さんの仕事を認識して居ります。今後よろしくお願い致します。
- お身体に十分お気を付け下さい。
- ほんとうに御苦労様です。一筆御礼まで。

お客様にあわせた営業方法の導入

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発出されて以降、対面型の営業が制限される日々が続きました。緊急事態宣言下においてもお客様により良いサービスをご提供するため、オンラインで営業活動が可能となるようシステム整備を進めました。また、オンラインで開催された「オンライン彩の国ビジネスアリーナ」、「ヴァーチャル産業交流展」にも出展し、「PCB廃棄物適正処理・廃プラスチックセミナー」というオンラインセミナーも開催しました。

緊急事態宣言が解除されて以降も、全てのお客様に最適なサービスをご提供するため、リアル／オンライン双方の営業活動を推進していきます。

PCB廃棄物適正処理・
廃プラスチックリサイクル
セミナー

今問題となっているPCBや廃プラ…
皆様のモヤモヤに
当社のプロフェッショナルがお答えします！

日時 2021年 2月25日(木) 13:00-14:30
Zoomによるオンライン開催 ※いずれか一部のみ参加可

第1部 13:00～13:45
「処理期限迫る！PCB廃棄物」
講師：松原 泰男
(加藤商事株式会社 環境対策 企画課長)

第2部 13:45～14:30
「廃プラスチックリサイクル
の最新動向」
講師：渡辺 直樹
(加藤商事株式会社 環境対策 システム課 課長)

参加費 無料 定員 10名程度

当館商事株式会社 環境対策 システム課 渡辺 直樹 氏よりご挨拶
E-mail: eia.info@katosyojito.kyoto
TEL: 03-6277-7187
※このページの右上隅にあるQRコードをスマートフォンで読み取り、申し込みをお願いします。

トピックス：お客様の課題を解決するサービス

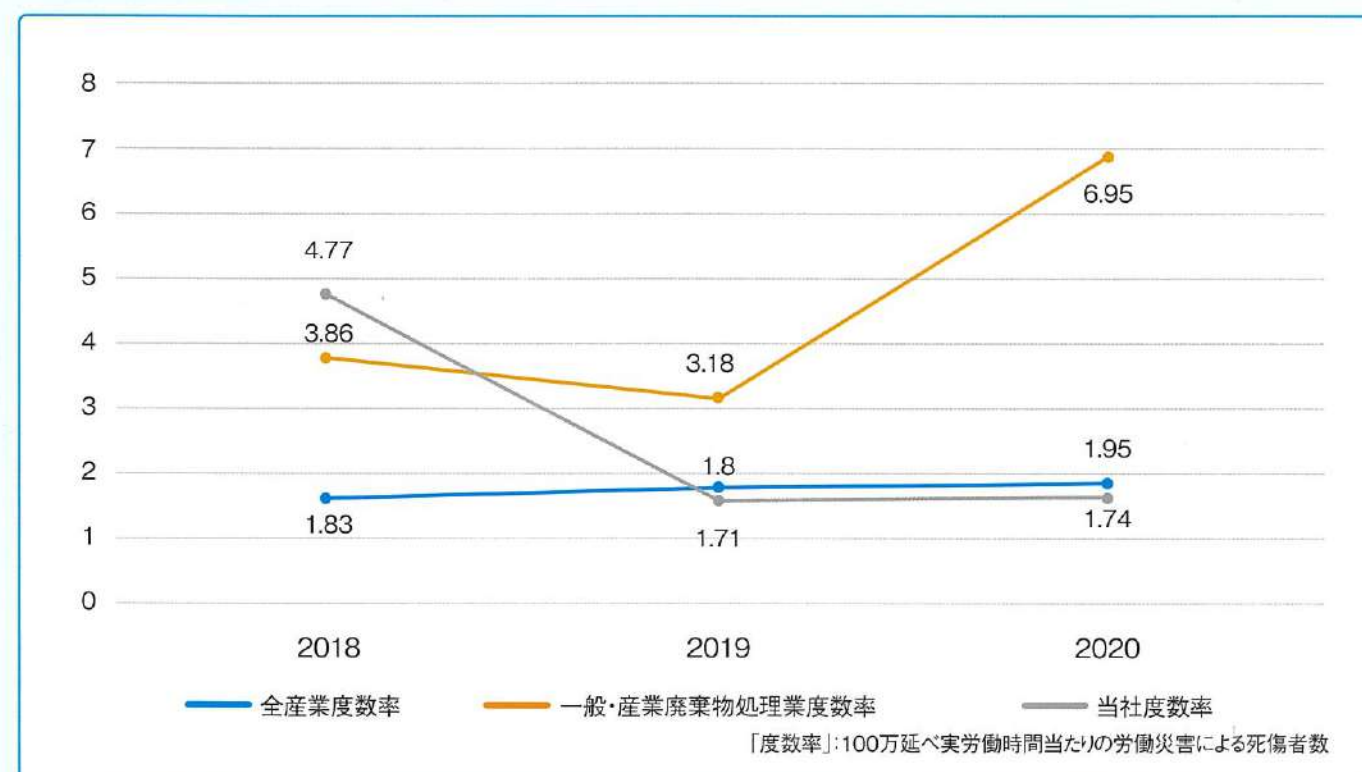
お客様が抱える環境に関するお悩み事について、それぞれの状況に合わせて適切なサービスをご案内しております。「興味がある」「検討したい」というお客様はぜひ当社までお問い合わせください。





安全成績

年度	1人当たり年間労働時間(時間)	平均労働者数(人)	総労働時間(時間)	死傷者数(人)	類別死傷災害発生状況
2018	2,021	165	333,979	7	切れこすれ 7件
2019	2,055	166	342,385	2	転倒つまずき 2件
2020	2,064	160	344,431	6	転倒つまずき 5件 切れこすれ 1件



2020年度は死傷者数6件、うち軽傷者数6件、重傷者数0件、死亡者数0件となりました。2019年度は死傷者数が前年に比べ減少しましたが、2020年度は再び増加となってしまいました。これまで事故防止対策委員会で安全ミーティングを定期的開催するなど取組を進めてきましたが、死傷者数の増加を受け、今後は内容や開催頻度などを見直し、死傷者数を減らすために努めていきます。

無事故表彰者数

当社では1年間無事故(交通事故/車両故障/顧客トラブル/労働災害)を達成した収集運搬課、資源再生課、総合建物管理課の社員に毎年表彰を行っています。2020年度は該当する社員108名のうち93名が表彰されました。

年度	本社		秋津		東大和		町田		合計		割合(%)
	該当者(人)	総数(人)	該当者(人)	総数(人)	該当者(人)	総数(人)	該当者(人)	総数(人)	該当者(人)	総数(人)	
2018	19	19	35	38	20	22	21	22	95	101	94%
2019	22	24	37	42	20	22	23	25	102	113	90%
2020	21	24	35	42	18	21	19	21	93	108	86%

2021 年度社内安全スローガン

当社では毎年社員から「社内安全スローガン」を募集しています。採用されたスローガンは各事業所内の目立つ場所に掲載され、日々社員の安全意識向上に役立っております。今年度は本社の資源再生課所属、田沼健一さんのスローガンが採用されました。

田沼健一さんへインタビュー

「いつでも笑顔を。コロナに打ち勝ち未来を創る」

■スローガンに込めた思い

私の母が看護師であるため、日々感染症の最前線の状況を聞いていました。感染症に対する母の話しぶりがビリビリしており、感染症の対応が困難と日々聞いていたことから恐怖に似た感情をつぶさに感じています。そうした中、スローガンの募集締切が近づいてきました。母の経験を基に、同僚が新型コロナウイルス感染症にかかってほしくないと考え、スローガンを書きました。社内安全スローガンに選ばれたときは、とても誇りに思いました。選定後はコロナに打ち勝つと自分に言い聞かせたことでプレッシャーを感じたこともありましたが、エッセンシャルワーカーであることを認識し、基本的対策を率先して行いました。スローガンに応募したことで、今では同僚の感染症への理解も深まったことが何より嬉しいです。

■日頃心掛けていたり注意していること

免疫力を上げることが一番と母から伝えられました。主に食事からビタミンA・C・D、ミネラル、マグネシウムを取り入れて、健康に気遣っています。また普段の生活では、コロナ感染をさけるため外出を控えています。

■どのような職場環境を今後目指していきますか

熱中症に留意しつつ、工場内の換気を徹底するように工場長へ呼びかけました。

現場作業前後の確認作業

建物清掃や省エネ設備等の更新工事、PCB関連業務など、当社の業務では様々な現場作業が発生します。それぞれの現場での作業を安全に、かつ確実に実施するため、作業開始前の朝礼、作業終了後の終礼を徹底して実施しています。朝礼では各現場の注意点などの共有や指差し確認を行い、安全作業に向けた確認を行います。また、終礼では作業状況に関する報告、共有と次回以降の作業に向けた確認事項の指摘、確認を実施しています。

「当たり前」のことを丁寧に、確実に行うことで、安全で正確な作業ができるよう心がけています。



新型コロナウイルス感染症への対応



当社は新型コロナウイルス感染症に対して、社員の安全確保と事業継続を目的に、①感染者を出さない、②感染者が出た場合もその影響を最小限にとどめるため対策を検討・実施しています。

●ごみの収集運搬作業時や工場での対策

環境省「ごみの収集運搬作業をされるみなさまへ 収集運搬作業における新型コロナウイルス対策」等を参考に、新型コロナウイルスに感染するリスクを低減するため、社員への指導や対策を実施しています。

作業前	健康管理・体調把握の実施	密の回避	手袋、マスクの着用	肌の露出の少ない作業着の着用
	 十分な睡眠をとる等の健康指導や体温測定による体調把握を実施しています。	 他の人との距離を十分に取し、窓やドアを開け換気を行うよう指導しています。	 作業時の感染リスクを低減させるため、手袋、マスクの着用を徹底しています。	 肌へのウイルスの付着を避けるため、熱中症等の問題がない範囲で、長袖の着用を推進しています。
作業中・休憩中	素手で触らない	こまめに消毒	車の換気(窓開け)	休憩時の密の回避
	 十分な睡眠をとる等の健康指導や体温測定による体調把握を実施しています。	 車両に消毒液ポンプを配備し、作業の合間に消毒できるようにしています。	 車両の窓を開放し、常に喚起されている状態を保つよう、指導しています。	 密閉・密集・密接を回避するため、換気、他の人との距離、近距離での会話に注意する呼びかけをしています。
作業後	消毒の徹底	手洗いの徹底	着替え時等の注意	
	 運転席等、感染の可能性がある場所の消毒を行っています。	 特に、作業終了後の手洗いの徹底を周知しています。	 手袋や作業着など、極力外面に触れないようと呼びかけをしています。	

●事務所での対策

事務所においても、新型コロナウイルスの感染対策を実施しています。

健康管理・体調把握の実施	こまめな消毒	密の回避	マスクの着用
 十分な睡眠をとる等の健康指導や体温測定による体調把握を実施しています。	 出社時の消毒や、感染の可能性がある場所の清掃・消毒を行っています。	 密閉・密集・密接を回避するため、換気、他の人との距離、近距離での会話に注意する呼びかけをしています。	 感染リスクを低減させるため、マスクの着用を徹底しています。

責任者へインタビュー

①これまでの工場内での新型コロナウイルス感染症対策

当社の従業員よりも搬入業者の出入りが多く、共用部やトイレ、洗面所などの水回りをよく使います。このことを踏まえて、人の出入りがある場所には消毒液を置いています。さらに手袋やマスクをしたまま消毒作業にあたりました。トイレ清掃の頻度を朝1回から朝と夕方の2回に増やしました。



環境保全事業部
次長 嶋崎 淳

②収集運搬時の対策

各収集車両に消毒液ポンプ1台を配備し、詰め替え用のアルコール液を在庫管理しています。残念ながら本社から感染者が出たため、作業員の他営業所への応援を行うことが難しくなりました。社内の感染拡大を防ぐべく、一層の感染対策を行っています。業務終了後にはハンドル、ギア、ドアノブを消毒するように、全作業員に呼びかけています。作業中は2名1組で行動し、密を防ぐために運転中の窓開けを指示しました。

③会社での対策の評価

産廃業界や他業者を通じて、マスクと消毒液を確保することが出来たことに満足しています。感染者の疑いがある社員が見逃されないように引き続き取り組みます。収集運搬員の働き方について、ごみ収集・運搬の委託元である東村山市と労働時間を協議した結果、収集運搬員の早上がりを認めてもらいました。また、ごみ収集は市民サービスに直結する仕事であることから、同業他社と協同して取り組みました。それぞれが担当するエリアの地図を作成し、地域の特性等の情報交換を行いました。

④今後の対応

従業員の体調不良時における会社の休暇制度を見直す必要があります。現状は出勤停止についてルールが明確化していませんでしたが、インフルエンザと同様に出勤停止にするかどうかを検討します。これとは別に、抗原検査簡易キットを導入してコロナ感染の疑いがある社員を早期で発見できるように努めます。検査時点で感染の有無を示すことで、従業員と会社の両者が安心して働ける職場環境になるよう取り組みます。

①感染症発生以降のオフィス内の対策

2020年から新型コロナウイルス感染症が日本で広がり、本社や営業所のマスクや消毒液が足りなくなったので、協会やインターネットで注文しました。併せて、ハンディタイプの検温機やサーモカメラを用意し、従業員の体調管理に反映しています。検温の結果、37.5度以上になった社員には休んでもらうように促しました。

②感染症による働き方の変化

オフィス内の会議では社員同士の間隔確保や、会議の時間制限などに取り組んでいます。さらに、客先での感染拡大を防ぐため、対面の他に電話やメール、オンライン会議システムを活用して、企業活動を続けています。



事業統括本部長
岩崎和夫

サーモカメラ



地域貢献

～地域に根差したCSR活動～

パッカー車見学会

当社では「働く車」としてパッカー車の見学会を行っております。2020年から2021年9月までに延べ11回の見学会を実施しました。いくつかの見学会では当社だけでなく、ともに一般廃棄物の収集運搬を行う企業と協力して開催しました。

見学会ではパッカー車の仕組みに関する説明や、ごみの積込体験を行いました。先生方や生徒の皆様と交流する中で、パッカー車の働く姿や地域美化に対して強い関心を持っていただいていることを改めて認識しました。

今後も活動を継続し、より地域の皆様に理解を深めていただけるよう努めていきます。



環境教育

毎年実施しているきよせ幼稚園様での環境教育も2020年で8回目を迎えました。2020年はごみを減らすこと・ものを大切にすることをテーマに開催し、エコレンジャーショーとパッカー車の積込体験を実施しました。

きよせ幼稚園様での環境教育は、楽しみながら環境について学んでもらうことをテーマに開催しています。この環境教育を通じて、園児の皆さんに少しでも環境について興味をもってもらえればと思います。



工場見学

エコ工場フェニックスでは、地域の住民の皆様や自治体職員の方々、事業者の皆様に対して工場見学を実施しています。当社のエコ工場では一般廃棄物として排出される容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行っています。ここでは排出されたごみに含まれる異物を機械や手作業で除去しています。工場見学に参加された皆様はごみの量や分別状況に驚かれることが多く、住民の方に見学いただいた後には分別状況が少し改善されたように感じられます。

今後も継続して工場見学を行いますので、ご興味ございましたら当社までお気軽にお問い合わせください。



地域清掃活動

当社では毎週月曜日の朝に、本社周辺の清掃活動を行っています。清掃活動を行うと、ごみのポイ捨てや不法投棄が多くなります。不法投棄の多い箇所では「自分も捨てて大丈夫」と新たに不法投棄を呼び込んでしまい、周辺環境を汚染してしまいます。

地域清掃活動を継続して行うことで、ポイ捨てや不法投棄の量が減っているように感じられますので、今後も継続して活動を実施していきます。



環境① ~2050年CO₂排出実質ゼロに向けて~

世界各地で気候変動の影響が拡大し、それに伴う災害の被害が甚大化しています。今後の気候変動被害を少しでも抑えるため、世界各国で気候変動対策として「脱炭素化」が進められています。

当社も昨年、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロとする目標を掲げ、取組を進めてまいります。

なぜ脱炭素化が必要なのか？

近年、気温の変化や降水量の増加など、気候変動の影響が大きくなってきています。気候変動の原因の一つは温室効果ガスとされており、今後も温室効果ガスを排出し続けてしまうと、気候変動はより深刻化すると考えられます。

そこで、日本政府は2020年、温室効果ガス排出量を2050年までに実質ゼロ、カーボンニュートラルを目指すと言いました。また、2021年には温室効果ガスの削減目標を2030年までに46%減(2012年度比)へ大幅な修正を行いました。政府の目標を達成するためには、日本国内全ての事業者が取組を進める必要があります。

Q.カーボンニュートラルとは？

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

排出量を実際にゼロにすることは難しいため、排出された温室効果ガスと同じ量を吸収するための取組を行い、全体の排出量を実質ゼロとすること。

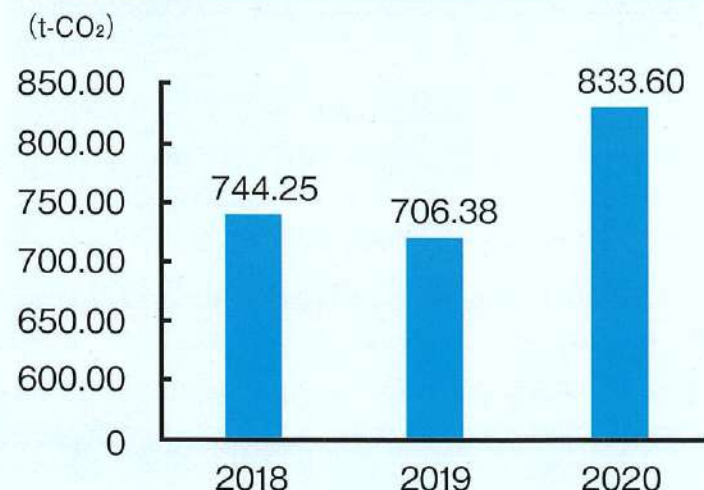


●当社の温室効果ガス排出量

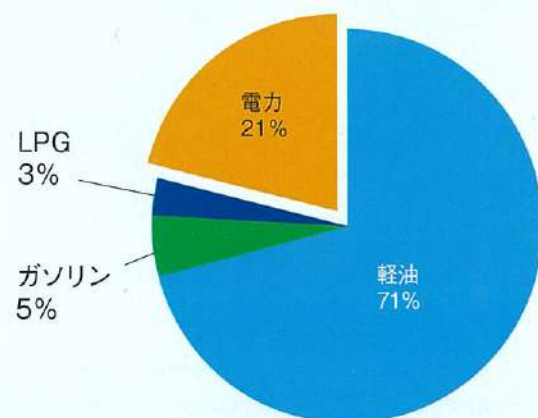
当社では2020年、約833tのCO₂を排出しました。これは前年と比較して約130t増加しており、新型コロナウイルスの影響により一般廃棄物量が増加し、収集運搬や中間処理に係るエネルギー消費量が増加したため、と考えられます。

2050年までにCO₂排出実質ゼロを目標として掲げる当社では、様々な取組を実施、検討しています。このうち、排出量の約2割を占める電力については、再生可能エネルギーで発電されたCO₂フリー電力の導入を検討しています。

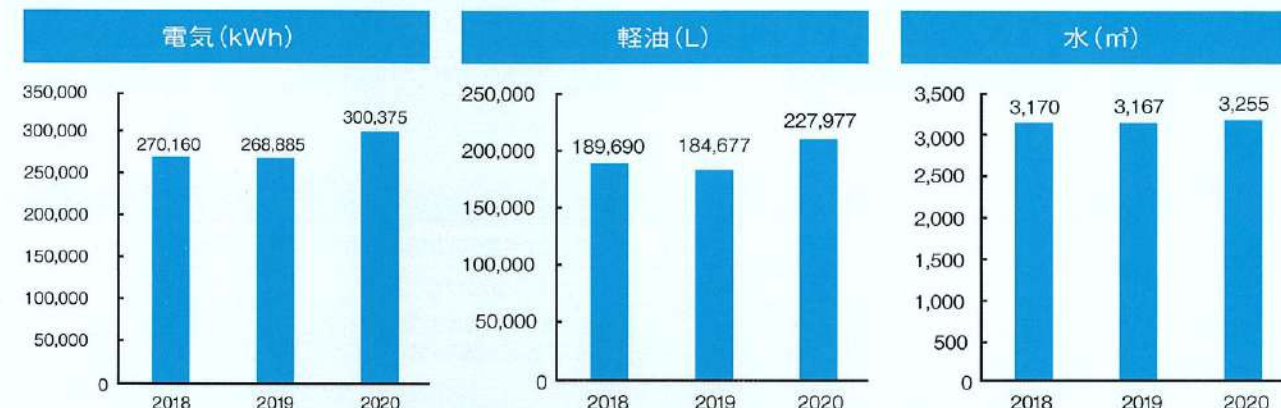
加藤商事のCO₂排出量



2020年度エネルギー内訳



当社のエネルギー使用は、工場における容器包装プラスチックとペットボトルの圧縮梱包に係る電力と収集運搬車両の燃料である軽油が中心となります。2020年度は、電力、軽油、水のすべてにおいて2019年度から増加となりました。今後もエネルギー使用量低減に向けて活動してまいります。



KATO 太陽光レポート

2015年度より稼働を始めた茨城県銚田市2MWのメガソーラーをはじめ、各発電所では順調に発電、売電をしています。



銚田市秋山発電所の航空写真

■太陽光発電システム概要

設置場所	茨城県銚田市秋山
定格出力	2MW
売電単価(税抜)	40円

2020年度の発電量
約249万 kWh

CO₂削減量
約1,256 t-CO₂



筑西市成井発電所

2020年度の発電量
約62,000 kWh

CO₂削減量
約31 t-CO₂



東村山本社発電所

2020年度の発電量
約24,000 kWh

CO₂削減量
約12 t-CO₂



赤坂営業所発電所

2020年度の発電量
約1,900 kWh

CO₂削減量
約1 t-CO₂



第61・62期ISO更新監査

当社はISO14001を取得し、環境マネジメントの継続的改善を図っています。
作業品質の向上、環境関連サービスの普及(=売上目標達成)による地球環境への貢献を目指しています。

●第61期環境目標および実績

環境保全事業部	
第61期目標	第61期実績
【収集運搬】品質	車両の整備実施率100%
【収集運搬】安全	ヒヤリハットの情報発信
【資源再生】人件費削減 人の効率	ペールの品質評価Aランクの獲得
【資源再生】教育	作業指示書の周知

環境イノベーション事業部	
第61期目標	第61期実績
【営業】既存案件の継続的受注(死守)と売上の拡大	既存案件の全件受託、売上目標達成
【営業】新規受注に向けて営業活動	業務全体の売上貢献とともに他課の業務フォローを実施
【営業】競争力の強化及び社員の育成・指導強化	資格の取得、業務増加を予測した資格者の増員と協力会社の拡充
【総建】無事故・安全作業	夏場の猛暑による熱中症が発生し、空調服の導入等を検討
【コンサル】売上目標の達成	達成
【コンサル】新規商材の営業拡大	テレアポ・展示会出展を実施

管理部	
第61期目標	第61期実績
労働時間管理の徹底	年次有給休暇5日取得や半休制度を就業規則に追記

●第61期の第三者審査結果

実施日	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会	よい点(グッドポイント)
2020年7月13～15日 第4回更新審査	なし	2件	7件	4件

従業員にバックカー走時時の注意事項を教育

ペットボトルラベル分離機を新たに導入するに際し、「生活環境保全上の措置」として、悪臭、振動、騒音などが評価され、問題がないことを確認されている。

ペールの品質評価“A”の維持ポイントとして、分別対象ポイントの絞り込み、作業の優先順位を確認してから作業との従業員の明確な回答。

清掃の管理ポイントとして、グリスラップ清掃作業時に、汚泥を飛散させないようにホースの吸引口は上向きで手で押さえるとの従業員の明確な回答。

●第62期環境目標および実績

環境保全事業部	
第62期目標	第62期実績
【収集運搬】各所組織体制確立(役職者擁立)	秋津事業所にて3名が昇格
【収集運搬】地域密着	情報収集の実施
【資源再生】人件費削減 人の効率	作業員に機械の理解と操作を作業書等で周知し、人員の選定、技能適正に合わせた配置を実施
【資源再生】経費削減 機械の効率 キロ単価値上	自社メンテナンス、定期清掃により経費の削減

環境イノベーション事業部	
第62期目標	第62期実績
【営業】現場代理人教育と従事者の充実	候補者を選定
【営業】産廃収集・グリスラップ清掃の拡充	新型コロナウイルスによる営業自粛や訪問困難により達成ならず
【コンサル】課内連携に向けた課内体制の見直し及び営業力の強化	営業チームとして一つにまとめ、情報共有のため営業会議を実施
【コンサル】既存顧客からの売上拡大	顧客・営業状況を整理、見込み客へのフォロー強化
【コンサル】新規顧客獲得	DM、テレアポ等を実施
【コンサル】新たなサービスの事業化	事業メニューの検討、社内提案を実施
【総建】既存物件の継続受注	物件数増加、売上上昇
【総建】現場作業強化・資格取得	中途採用者加入により作業量の安定と受注量の増加
【総建】コンサル課(LED・PCB)作業実施	PCB廃棄物の低濃度運搬を実施

管理部	
第62期目標	第62期実績
工事Proに替わるシステム導入	情報の整理、マスタ登録まで完了
BCP(事業継続計画)の教育・訓練	アンピックを用いて安否確認訓練を2回実施

●第62期の第三者審査結果

実施日	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会	よい点(グッドポイント)
2021年9月16日、17日 第11回サーベイランス審査	なし	なし	10件	3件

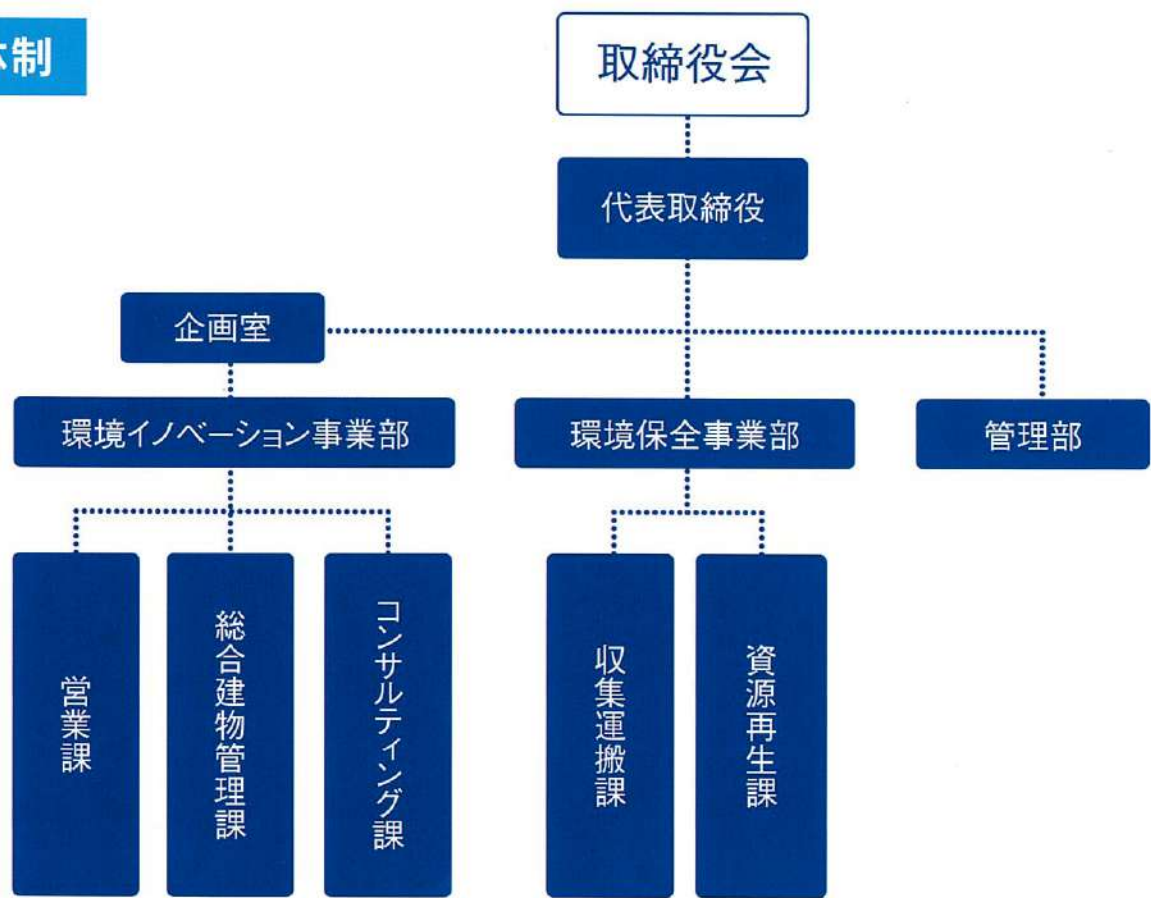
第1、2工場の適切な運用。(掲示板に消火器配置図、緊急時連絡表を掲示/選別作業員勤務予定表に毎日の体温を記入/タイムカードの場所に消毒用アルコール設置/緊急事態対応用ウェス、オイル吸着マット保管庫/前回審査O所見への対応として、各所に“扶まれ注意、頭上注意、感電注意”の表示有り/減容機では、黄色のパネルを外すと電源がOFFとなるインターロックを設置/フォークリフトの日常点検、年次点検の実施と記録/セキュリティのため、周辺には赤外線センサー設置

ごみ出しの時間に収集されなかった場合でも、市民サービスの観点から毎回再収集対応が行われている。

コロナ禍における日々の収集運搬活動に対する、住民からの感謝・励ましの声が多数寄せられている。



体制



法令等順守状況

Table listing compliance status for various laws and regulations, categorized by law name, category, and compliance status.

※ISO「法的及びその他の要求事項一覧表」より抜粋

許可情報

Table showing industrial waste disposal and collection permits, including details like permit number, location, and status.

Table showing industrial waste collection and transportation permits, including details like permit number, location, and status.

Table showing special management industrial waste collection and transportation permits, including details like permit number, location, and status.

○：収集・運搬業許可有り(積替え保管無し) 空欄：許可無し

財務情報

Table showing financial data for periods 60, 61, and 62, including sales and operating income.

(百万円)

社員情報

- 1 平均年齢 42.8歳
- 2 正社員の平均勤続年数 8.4年
- 3 障がい者雇用率 3.6%
- 4 育児・介護制度 ※利用者数 2名
- 5 健康診断受診率 100%
- 6 有給休暇消化率 57.9%

※育児、介護等を理由とする休業や労働時間短縮制度